

# 令和3年度 第1回学校評価 (7月実施) 結果

浜松市立中川小学校

重点目標	教育目標「ゆめをもって 自分らしく はつらつと生きる子」
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ なかよく思いやりのある子</li> <li>・ わたしもあなたも健康な子</li> <li>・ かんがえを深め学び続ける子</li> <li>・ がんばりがきき、ねばり強い子</li> </ul>

「そう思う」「だいたいそう思う」の合計が70%以上  
 「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計が30%以上



○ 評価が良い項目  
 ● 評価が良くない項目

⇒ ……今後の取り組み

なかよく思いやりのある子	そう思う			だいたいそう思う			あまりそう思わない			そう思わない		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
1.学校生活を楽しく送っている。	53	48	18	33	46	82	9	6	0	4	0	0
2.友達や地域の人に、自分から挨拶をしている。	46	24	0	37	48	38	13	26	56	4	6	6
3.相手の気持ちを考えた言葉遣いをしている。	49	18	0	37	58	82	11	22	18	3	2	0
4.友達やクラス、学校のためになることを進んでしている。	35	19	0	39	55	87	20	24	13	6	2	0

⇒○項目1「学校生活を楽しく送っている」  
 今年度も活動の制限があるなかですが、この項目の数値が高いことはすばらしいと思います。みんなのためになることを進んで行き、前向きに過ごしている子供たちの姿を今後も大切にしていきたいと思います。

⇒●項目2「友達や地域の人に、自分から挨拶をしている」  
 挨拶は、毎日はつらつとした挨拶をする子もいますが、挨拶の声が小さい子、挨拶をしない子もいます。ひとりひとりの取り組みに差があるのが現状です。職員から見ると、相手が挨拶をしないと挨拶しない、登校班での挨拶はできるが、それ以外の場では、自分から挨拶をしないという状況が見てとれることから、「できていない」評価が高くなっているのだと思われます。児童から見ると、挨拶されれば、挨拶を返しているため、「挨拶はしている」という数値が高くなっている面もあると考えられます。挨拶の意義を今一度みんなで考え、「自分から」という点での挨拶向上に向けて、学年、委員会、生徒指導の中で挨拶運動を中心に取り組んでいきます。御家庭でも、挨拶について話し合ったり、認めたりする時間を大切にしていきましょう。

⇒○項目3「相手の気持ちを考えた言葉遣いをしている」 ○項目4「友達やクラス、学校のためになることを進んでしている」  
 項目3・4の数値が高いことは立派なことだと思います。今後も、自分の気持ちの伝え方や自分が発した言葉によって、相手がどのように感じるか等について、学校教育活動全体の中で継続的に指導を続けます。また、ボランティア清掃への取り組みや、友達の良さを伝えるスマイルカードへの取り組みなどが、みんなのためになっていることを自覚させ、意欲を継続させていきます。よい表れは認め、広めていきます。

かんがえを深め学び続ける子	そう思う			だいたいそう思う			あまりそう思わない			そう思わない		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
5.家庭学習に、10分×学年（1～3年生は30分）、取り組むことができる。	46	33	24	30	37	53	17	24	23	8	7	0
6.先生の話や友達の発表をしっかりと聞いている。	57	22	6	34	55	54	7	21	40	2	2	0
7.自分から進んで手を挙げて授業中に発表している。	40	15	0	25	39	50	22	38	50	12	8	0
8.グループ学習では、友達に自分の考えを話したり、友達の考えをしっかりと聞いたりしている。	50	11	0	30	56	50	15	29	50	3	4	0

⇒○項目5「家庭学習に、10分×学年（1～3年生は30分）、取り組むことができる」

家庭学習の時間を決めて継続することの良さは2つあります、1つめは、毎日の家庭での学習リズムができること、2つめは、自分自身でスケジュールを管理する意識が高まることです。現状が定着するよう、できていることを褒めて意欲を持続させていきましょう。

⇒○項目6「先生の話や友達の発表をしっかりと聞いている」

学びは「話を聞く」ところから始まります。授業の中でも、「聞く」ことを大切にしていきます。友達の考えを聞くことで、自分の考えとの共通点、相違点に分かり、自分の考えを深めたり、広げたりすることができます。また、上手な伝え方を学ぶことができます。発言を聞く視点について授業の中で明確にさせながら進めていきます。

⇒●項目7「自分から進んで手を挙げて授業中に発表している」●項目8「グループ学習では、友達に自分の考えを話したり、友達の考えをしっかりと聞いたりしている」

何でも言い合える雰囲気や学級作り、「自分の考えを人に伝えたい」という思いをもてるような授業作りをさらに進めていきます。ペアでの学習、小グループでの学習、学級全体での学習など、自分の考えを伝える場を設定し、発言の機会を増やして自信を積み重ねていきます。また、人の考え、見方、伝え方などの良さを教師が褒め、広め、自分の発表に生かせるようにします。

項目6、7、8での教師の評価が低くなっていることについて⇒授業での子供の姿については、「学年末の3月には、このような姿になってほしい」という各学年ごとの目指す姿があります。その姿と照らし合わせたとき、今の時点では、ゴールに向かう成長途中のためこのような評価になっていると考えられます。学年末に目指す姿に向けて、今後も手立てをうち、支援をしていきます。

わたしもあなたも健康な子	そう思う			だいたいそう思う			あまりそう思わない			そう思わない		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
9.安全に登下校している。	74	50	20	21	43	67	4	6	13	1	1	0
10.自分の体のことを考え、好き嫌いなく食べている。	41	27	0	34	44	75	15	21	25	9	8	0
11.進んで運動したり、外で遊んだりしている。	53	44	13	20	35	69	16	17	18	11	4	0

⇒○項目9「安全に登下校している」

例年この項目は評価が高く、大きな事故がないという事実にも表れています。これも御家庭での言葉掛け、地域の皆さんのおかげです。ありがとうございます。しかし、事故やけがにつながりそうな歩行の仕方や自転車の乗り方を目にするのも少なくありません。登下校での自分の命を守る取り組みは、地区別児童会、交通安全を語る会、学級指導などで機会を捉えて指導していきます。登下校の交通安全指導に限らず、不審者対応、災害時対応等についても、繰り返し指導していきます。今後も、「自分の命は自分で守る」指導を続けていきたいと思えます。

⇒○項目10「自分の体のことを考え、好き嫌いなく食べている。」

食に関する指導は、給食の時間等を利用して行っていきます。御家庭でも、学校から配布される給食だよりや保健だより等を参考にしながら、お子さんと、食生活と自分の体について話し合ってみてください。

⇒○項目11「進んで運動したり、外で遊んだりしている」

コロナ禍の状況ですが、それぞれが、対策したり工夫したりして活動していることが分かります。今後も活動の仕方に制限があることは止むを得ませんが、学校でも、環境や取り組み方を工夫して運動の時間を設定していきます。